

31 東京ボランティア・市民活動センター

行動計画(チャンス&サポートプラン2012)記載の内容	25年度取組実績
1. あらゆる分野への参画の促進	
(2)社会・地域活動への参画促進	
<p>☆(1)災害発生時の対応に向けた災害ボランティアコーディネーターの養成を行います。</p> <p>☆(2)東日本大震災への対応として被災地の生活復興に向けた情報を収集し、NPOや企業など活動団体や活動を希望するボランティアに提供します。</p>	<p>○災害発生時の対応に向けた災害ボランティアコーディネーターの養成</p> <p>* 災害ボランティアセンターに派遣された経験者、ボランティア・NPOを対象に災害ボランティアリーダー研修を行なった。</p> <p>○東日本大震災への対応</p> <p>* 災害被災地及び都内避難者の生活復興に向けた情報を収集し、NPOや企業など活動団体や活動を希望するボランティアに提供するとともに、都内への避難者への支援活動を行う団体の連絡会の運営を行った。</p>
<p>☆多様なボランティア、NPO等の市民活動への主体的な参加の促進・支援を行います。</p> <p>(1)研修・講座を開催し、多様な人たちの参画による市民社会を目指します。</p> <p>①男女及びシニア、企業人等のボランティア、市民活動への参加促進のための研修を行います。</p> <p>②ボランティア、市民活動の体験プログラムを企画し、介護体験、育児体験など多様な参加促進の機会を提供します。</p>	<p>○介護等体験事業</p> <p>事前ガイダンスを、ボランティア活動、市民活動への理解を促し、参加へのきっかけの場として活用すると共に、将来の教員候補の学生に福祉教育、ボランティア学習の意義を伝える場とした。</p> <p>* 年間15,200人の学生を740か所の福祉施設に受入調整を行った。</p>
<p>☆(2)ボランティア活動、市民活動への参加希望者を対象に体験プログラムの提供を行い、今後の活動のきっかけを提供します。</p>	<p>○夏体験ボランティアの実施</p> <p>区市町村ボランティアセンターと協力して、計7,448名の活動希望者の調整を行った。</p>
<p>☆(3)ボランティアグループ・NPOで活動したい人のためのガイダンスを実施します。</p>	<p>○ボランティアグループ・NPOで活動したい人のためのガイダンス</p> <p>NPO法人やボランティア活動への関心を持つ多様な世代の人が参加につながりやすい場を提供</p> <p>* 年3回開催</p>
<p>☆(4)ボランティア・市民活動団体が活動する場の提供を行います。</p>	<p>○ボランティア・市民活動団体が活動する場の提供</p> <p>* 会議室、印刷器材等の貸出</p>
2. 仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現	
(2)子育てに対する支援	
<p>男女が人権を尊重し、誰もが共生する市民社会に向けてネットワーク化を図ります。</p> <p>地域の中で高齢者、子供、障害者等が共に過ごす拠点を確保し、それを運営しているボランティアやNPO等の活動別ネットワーク化を図り、支援します。</p>	<p>○市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2014の企画及び開催によるネットワーク推進</p> <p>* 企画委員会で社会的課題を含め、テーマや開催方法等について検討。</p> <p>(1)準備会の開催 2回</p> <p>(2)実行委員会の開催 10回</p> <p>(3)開催日 平成26年2月7日、8日、9日</p>
<p>子供たちがボランティア活動等に参加し、地域社会の中で健全に発達していく機会をつくります。</p> <p>地域の中で、子供たちが健全な発達をしていくため、教育関係者やボランティア、NPOとの連携、協力のもとで多様な参加機会をつくるシステムを構築します。</p>	<p>○夏体験ボランティアの実施</p> <p>1. (2)(2)のとおり</p>
(3)介護に対する支援	
<p>☆要介護者を介護する家族を支える取組の支援を実施します。</p>	<p>○要介護者を介護する家族を支える取組みの支援</p> <p>(1)家族介護者の地域の中でのネットワーク化を促進</p> <p>(2)「家族介護を考えるつどい」の開催</p> <p>* 平成26年1月18日</p>

31 東京ボランティア・市民活動センター

行動計画(チャンス&サポートプラン2012)記載の内容	25年度取組実績
3. 特別な配慮を必要とする男女への支援	
(1)ひとり親家庭への支援	
<p>☆民間企業の協力による支援プロジェクト*の実施 ひとり親に対して、就労の専門家による定期的・継続的な相談や資格取得に対する支援及び緊急時の保育対応を実施します。 *民間企業の協力による支援プロジェクト:民間企業と社会福祉法人東京都社会福祉協議会が、福祉施設で暮らす子供たちの進学支援や、低所得のひとり親の就労支援を行うとともに、それらに関わるNPOの組織強化もサポートする。本プロジェクトの実施に当たっては、民間企業の社員たちがボランティアとして参加・協力する。なお、東京ボランティア・市民活動センターは、社会福祉法人東京都社会福祉協議会のひとつの事業部である。</p>	<p>○ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プロジェクトの実施 *ひとり親就労支援プロジェクト ひとり親に対し、就労の専門家による定期的・継続的な相談を実施。資格取得に対する支援および緊急時の保育対応 *第5期に35名のひとり親を支援</p>
(2)高齢者への支援	
<p>男女が人権を尊重し、誰もが共生する市民社会にむけてネットワーク化を図ります。(再掲) 地域の中で高齢者、子供、障害者等が共に過ごす拠点を確保し、それを運営しているボランティアやNPO等の活動別のネットワーク化を図り、支援します。</p>	<p>○市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2014の企画及び開催によるネットワーク推進 *企画委員会で社会的課題を含め、テーマや開催方法等について検討。 (1)準備会の開催 2回 (2)実行委員会の開催 10回 *2(2)の再掲</p>
(3)若年層への支援	
<p>☆民間企業の協力による支援プロジェクトの実施 次世代への貧困連鎖を予防するため、福祉施設で暮らす子供たちへの大学進学支援、小学生・中学生・高校生への学習支援、大学就学の資金的・精神的支援の提供を行います。</p>	<p>○ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プロジェクトの実施 *進学支援事業 次世代の貧困連鎖を予防するため、福祉施設で暮らす子どもたちへの大学進学支援、小学生・中学生・高校生への学習支援、大学修学の資金的・精神的支援の提供</p>
5. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(1)教育・学習の充実	
<p>(1)学校におけるボランティア福祉教育とボランティア活動を通して、子供たちのボランティア活動への関心を高め、男女の人権や介護、国際理解等についての理解を促進します。 ☆(2)学校等における市民学習の推進方策の検討を行います。 ☆(3)学校等での市民学習・福祉教育が円滑に行われるよう、学校や区市町村ボランティアセンターの支援を行ないます。</p>	<p>○学校等における市民学習の推進方策の検討 ○市民学習・福祉教育のコーディネート 学校等での市民学習・福祉教育が円滑に行われるよう、学校や区市町村ボランティアセンターの支援を行なう。 *検討委員会を5回開催</p>
<p>幅広い関係機関、団体とのネットワークと協働の促進 (1)男女が共に参加できるボランティア、市民活動の情報提供と相談活動を推進します。 ①多様な領域のボランティア、市民活動の情報をニュースレター、ボード、インターネット等で提供します。 ②ボランティア活動への参加やNPOの設立・運営について相談を行います。</p>	<p>○ボランティア活動や市民活動に関する相談 *年間相談件数:12,737件</p>

31 東京ボランティア・市民活動センター

行動計画(チャンス&サポートプラン2012)記載の内容	25年度取組実績
<p>(2)研修・講座を開催し、多様な人たちの参画による市民社会を目指します。(再掲) ①男女及びシニア、企業人等のボランティア、市民活動への参加促進のための研修を行います。 ②ボランティア、市民活動の体験プログラムを企画し、介護体験、育児体験など多様な参加促進の機会を提供します。</p>	<p>○ボランティアグループ・NPOで活動したい人のためのガイダンス * 1(2)(3)に掲載済み</p>
<p>(3)子供たちがボランティア活動等に参加し、地域社会の中で健全に発達していく機会をつくります。 ・地域の中で、子供たちが健全な発達をしていくため、教育関係者やボランティア・NPOとの連携、協力のもとで多様な参加機会をつくるシステムを構築します。</p>	<p>○夏体験ボランティアの実施 ○体験学習の新たな受入メニューの開拓、受入実施 1(2)(2)に掲載済み</p>
<p>☆(4)企業との協働によるNPO支援、地域貢献プログラムの推進します。</p>	<p>○企業との協働によるNPO支援、地域貢献プログラムの推進 * 社会貢献活動の進め方や社員のボランティア活動の進め方などについて相談に対応</p>
<p>☆(5)音訳、精神保健、日本語ボランティア等のグループ、団体のネットワークの構築支援を行います。</p>	<p>○活動別ボランティアネットワークとの連携 * 音訳、精神保健、日本語ボランティアなどのグループ、団体のネットワーク構築支援</p>
<p>☆(6)市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2013の企画及び開催によるネットワークを推進します。</p>	<p>○市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2014の企画及び開催によるネットワーク推進 * 企画委員会で社会的課題を含め、テーマや開催方法等について検討。 (1)準備会の開催 2回 (2)実行委員会の開催 10回 * 2(2)の再掲</p>
(3)推進体制	
<p>☆ボランティア・NPO等の市民活動センター及び自治体と連携、協働した活動を推進します。</p>	<p>○区市町村ボランティア・市民活動センター連絡会議 * 年4回開催 ○区市町村NPO担当者連絡会議 * 年1回開催</p>